

海外規格に対応した大形チャンバー法が できるようになりました！



ベッドや学習机などの大型家具・資材類には、製造過程で様々な材料が使用されています。それら材料の中には、ホルムアルデヒドなど揮発性の有害な化学物質（VOC類）が含まれているものもあります。これらの物質は、日本を始め世界の様々な国・地域で規制されています。

家具・資材類から発散するこれら有害なVOC類を分析する方法の一つに大形チャンバー法があります。大形チャンバー法は、**製品を破壊することなく有り姿のまま有害性評価できることが特徴の試験方法**です。ボーケンでは、すでにJIS規格対応の大形チャンバー室を所有しておりますが、**この度新たに海外規格への対応が可能となりました**。以下の表に対応可能な海外規格とその条件などを記します。

国・地域	規格	温湿度	換気回数	試料採取
米国	ASTM E1333-14 (ホルムアルデヒドのみ)	25±1°C 50±4%	0.5±0.05(回/h)	16 時間後及び 20 時間後
欧州	EN717-1 (ホルムアルデヒドのみ)	23±0.5°C 45±3%	1±0.05(回/h)※	10 日間の内で 14 回採取
国際	ISO16000-9	23±2°C 50±5%	0.5±0.05(回/h)	1 日後、3 日後、7 日後、 14 日後、28 日後、56 日後 (必要に応じて追加日数での測定も可)
日本 (参考)	JIS A 1911 及び 1912	28±1°C 50±5%	0.5±0.05(回/h)	1 日後、3 日後、7 日後 (必要に応じて 14 日後、28 日後の測定も可)

※チャンバー室1台のみで使用可能



これから海外への輸出をお考えのお客様は是非ボーケンにお声がけください！

また、お客様の状況に合わせた、試験条件のカスタマイズ（試料採取時間や温湿度条件など）にも対応させていただきますので、是非ご活用ください！！

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

一般財団法人ボーケン品質評価機構
大阪認証・分析センター
担当：今枝・松永（悠）

所在地
〒552-0021
大阪市港区築港1丁目6番24号
TEL 06-6577-0031